

2-1

演題	「思い出」を紡ぐ便り
副題	～とびっきりの笑顔を追いかけて～

広報誌
思い出を紡ぐ

法人名 社会福祉法人 育明会
施設名 レジデンシャル常盤台

発表者名 (職種)	滝澤 素子 介護職員	都道府県	神奈川県
共同発表者	良元 瑞	住所	横浜市保土ヶ谷区常盤台 74 番 7
共同発表者	広報委員会	TEL	045-348-8001
共同発表者		FAX	045-348-8002
共同発表者		メールアドレス	info-tokiwadai@ikumeikai.net
共同発表者		URL	https://www.ikumeikai.net/tokiwadai/

今回の発表施設 またはサービスの 概要

平成 23 年 4 月開設、本入居 160 床ショートステイ 20 床のユニット型特養です。
開設当初より《リスペクトケア》を合言葉に、最期まで「その人がその人らしく」過ごして
頂ける様、寄り添ったケアに取り組んでいます。

研究の目的、PR ポイント

毎月第三木曜日に委員会を実施し取材内容を検討。
イベントやお知らせ、トピックス、OnlyOne の紹介
等を記事にし常盤台便りとして発行している。
発行された常盤台便りは施設内各所に掲示、希望者
には配布し、ご家族へ郵送している。また、外部と
のツールの一つとして情報提供、共有に努めている。

取り組んだ課題

広報誌「常盤台便り」の名称で毎月発行、現在第
150 号を超えた。マンネリ化にならない様に、写真
を多く掲載し目に留まる記事を心がけた。OnlyOne
の記事はその人らしさを知るコミュニケーション
ツールとして人気があり、常盤台の行事の雰囲気が伝
わるように、そしてご利用者の柔らかな笑顔のショッ
トを選び、ご利用者のアルバムとして、常盤台の歴史
を刻む便りとして取材を行った。

具体的な取り組み

- ① 毎月の発行
レジデンシャル常盤台で行っている行事や活動を
お知らせする大切なツールとして、毎月の発行は
欠かせない。どのような記事にするか、委員会内
で話し合った後は、記事の取材・写真撮影・資料
集めを行い、取材原稿の作成・割り付け・原案作
成を締め切りまで行う。その後は施設長のチェッ
クを経て「常盤台便り」が発行される。
- ② 新しい取り組みを取材
新たな取り組みをした元旦に年賀状の届いた様子
を取材し、ご利用者の声を紙面に載せた。
- ③ 季節を感じて頂ける行事を取材
春はお花見、夏は流しそうめんとビアガーデン、
秋はスポーツ・芸術・食欲の秋を、冬はクリスマ
スリース作りを取材した。
- ④ OnlyOne の連載
OnlyOne の作成には、ご家族様にお父様お母様の
事を紹介して頂いたり、写真や思い出の品を持っ
てきて頂いたりご協力して頂いている。早めのア
プローチに心掛けた。

活動の成果と評価

2023 年 5 月より「ウィズコロナ」から「アフターコ
ロナ」になり、距離を関係なく楽しみ、関りを持つ
様子を取材掲載し、その様子をお届けできたと思う。
敬老の日特集として二か月にわたり、お一人お一人
の写真やご家族と一緒にのショット、ご家族からのメッ
セージを載せ、「記念になります」「良い思い出が出来
ました」と感想を頂いた。百寿の I 様のお祝いには、「一
族全員集合」15 名の写真を載せ、大きな反響を呼んだ。
I 様からは、「もうこんな集まって写真撮ることない
ね、宝物になりました、ありがとう」と感想と大きな
笑顔を頂いた。また、四季を通じた行事の取材によっ
て、紙面から季節感を感じて頂き、ご利用者、ご家族、
職員にとってメモリーの一部になった。
OnlyOne は、ご家族の協力を得て、ほぼ毎月の連載
を行うことができた。ご家族からの依頼で増刷のご
希望もあった。その人らしさを知るコミュニケーション
ツールとしての役割を担う事が出来たと思う。ご
利用者が載っている便りは、ご本人へお届けしたり、
居室に飾ったり、今年の思い出として保管されアル
バムの一部となっている。今年度は、写真撮影を工
夫し自然な表情の撮影を心がけ、その人らしいとび
きりの笑顔を載せることができたと思う。

今後の課題

今後も毎月常盤台便りを発行し、読み手が知りたい、
見たい情報を収集し取材していく。ご利用者、ご家族、
職員の思い出のツールとして、その人らしさ溢れる表
情、とびっきりの笑顔を追いかけていきたいと思う。
また、毎年の課題である写真撮影の技術を向上させ、
20 年史刊行に向け、歩み続けていきたい。